

概略計画案の選定  
対応方針の決定

平成27年9月3日

三重県

# 1-1 概略計画案の選定

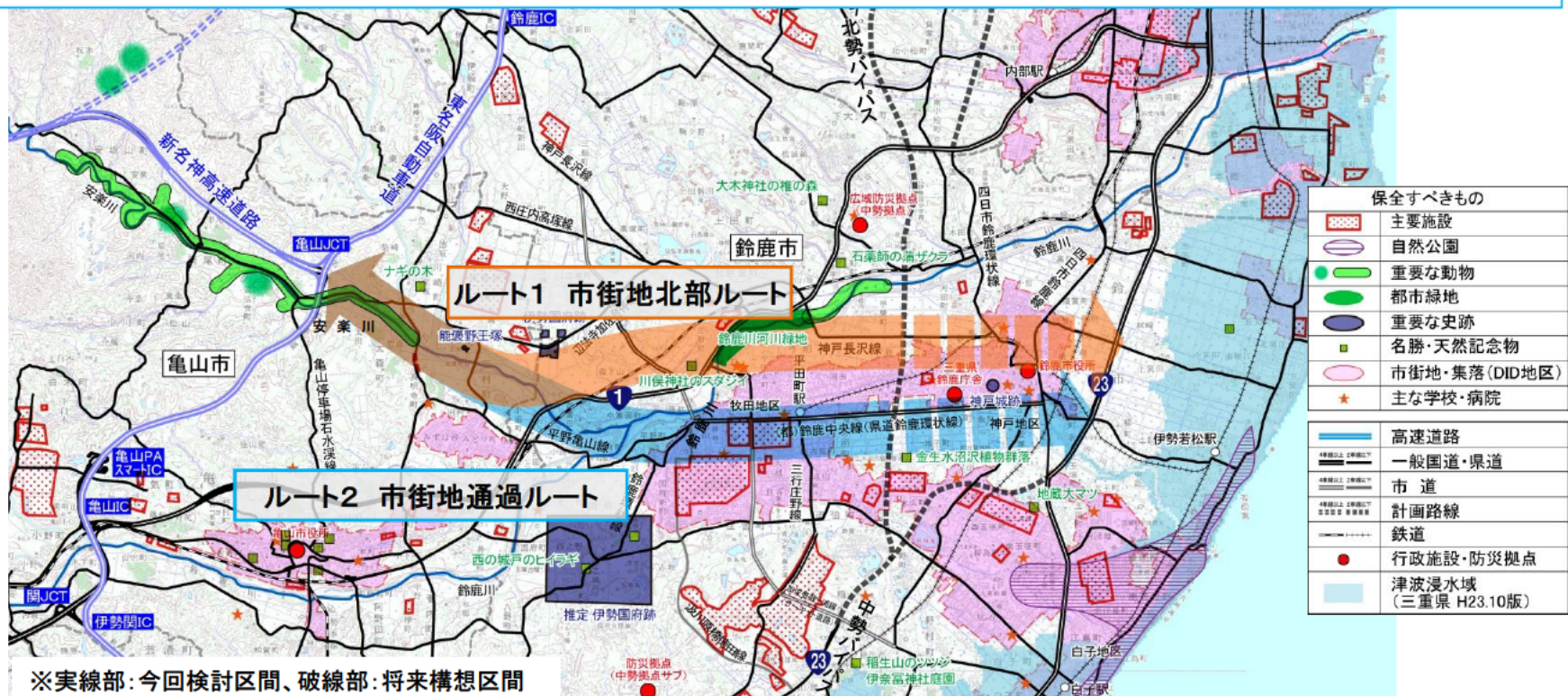
## (1) 複数の概略計画案

鈴鹿亀山道路が担うべき政策目標

1. 工業製品出荷額等日本一の産業を支える道路基盤の充実
2. 中部・近畿や県内の連携強化のため、選択性のあるネットワークの確保
3. 災害時にも社会経済活動を持続し地域の持つポテンシャルを早期復元できる道路機能の強化

【ルートの方針】

1. 産業基盤を支える道路として、大阪、滋賀、京都と更なる連携強化等を図るため亀山ジャンクション付近で接続する
2. 名古屋方面へ向かう幹線道路とスムーズに連絡し、交通需要の大きい牧田、神戸、白子地区を結ぶ



## 1 - 1 概略計画案の選定

### ( 2 ) 概略計画案の選定

#### 1 . 企業活動を支え災害時にも機能する道路を早期に実現する

(理由)

産業集積地にあつて、高速道路へのアクセスに時間を要し、新たに整備される新名神高速道路等の機能を十分に活かすことができない状況にあり、企業活動や新たな企業誘致等を支援するために高速道路への所要時間を短縮し、定時性を確保する道路整備が必要。

南海トラフ巨大地震発生時に沿岸部にて津波等による甚大な被害が想定されるなか、沿岸部の人口・産業の集積地と内陸部の高速道路を結ぶ、災害に強い東西軸の道路整備が必要。

アンケートやヒアリング、100人協議会等においても、産業を支え、災害時にも機能する道路の早期整備が必要という意見が多く、政策目標を早期に実現できる道路が望まれている。

# 1 - 1 概略計画案の選定

## (2) 概略計画案の選定

### 2. ルート1 市街地北部ルートを基本として検討する

(理由)

政策目標「1. 工業製品出荷額等日本一の産業を支える道路基盤の充実」に対して「産業支援関連」におけるルート帯案の比較評価を行った結果、ルート1市街地北部ルートについては、「改善・満足している」、ルート2市街地通過ルートについては、「改善・満足しているが他に比べてやや劣る」評価結果となっている。

政策目標「3. 災害時にも社会経済活動を持続し地域の持つポテンシャルを早期復元できる道路機能の強化」に対して「防災関連」におけるルート帯案の比較評価を行った結果、ルート1市街地北部ルートについては、「改善・満足している」、ルート2市街地通過ルートについては、「改善・満足しているが他に比べてやや劣る」評価結果となっている。

【政策目標の達成】ルート1市街地北部ルート及びルート2市街地通過ルートは両案とも、政策目標として掲げた「1. 工業製品出荷額等日本一の産業を支える道路基盤の充実」、「2. 中部・近畿や県内の連携強化のため、選択性のあるネットワークの確保」、「3. 災害時にも社会経済活動を持続し地域の持つポテンシャルを早期復元できる道路機能の強化」の達成が期待されるが、ルート1市街地北部ルートの方が、ルート2市街地通過ルートよりも、政策目標1及び3の達成がより一層期待できる。

また、ルート1は、工事期間中の交通への影響、建設期間等の観点においてルート2に比べ大きく優れている。なお、アンケートやヒアリング、100人協議会等においては、早期効果の発現が多く主張されている。

## 1 - 2 鈴鹿亀山道路における対応方針

### ( 1 ) 概略計画案策定後の計画の詳細化にあたって

【インターチェンジの配置】鈴鹿市、亀山市等の意見を踏まえて、他の幹線道路や市街地からのアクセス性を重視して配置すると共に、アクセス道路の整備についても併せて検討する。（詳細は次頁）

【自然環境や重要な史跡等への配慮】道路整備を行うにあたって、自然環境や史跡等への影響を低減するために、今後、計画ルートの詳細な検討にあたり、自然環境や史跡等への影響にできる限り配慮する。

【景観への配慮】今後、計画ルートの詳細な検討にあたり、周辺景観への影響に配慮する。

### ( 2 ) 鈴鹿亀山道路の効果拡大に向けて

【沿岸部への延伸検討】防災対策の目的で要望が高い沿岸部等との連携強化に向けて、将来的に鈴鹿亀山道路の国道23号までの延伸を関係機関と連携して検討する。

【周辺道路との連携】鈴鹿亀山道路の防災対策や渋滞対策等の整備効果をより多く発現するため、今後、周辺道路と一体となった整備効果検討を関係機関と連携して進める。

【土地利用計画等まちづくりと一体となった効果拡大】道路整備と一体となった地域の活力維持、活性化を図るため、鈴鹿亀山道路の整備を前提とした土地利用計画を関係機関と連携して環境の保全に留意しながら検討する。

### ( 3 ) 計画策定段階、事業実施段階における配慮・留意事項

【コミュニケーション活動の継続】計画策定段階、事業実施段階において、県民等に対する十分な情報提供や意見集約といったコミュニケーション活動の継続に努める。

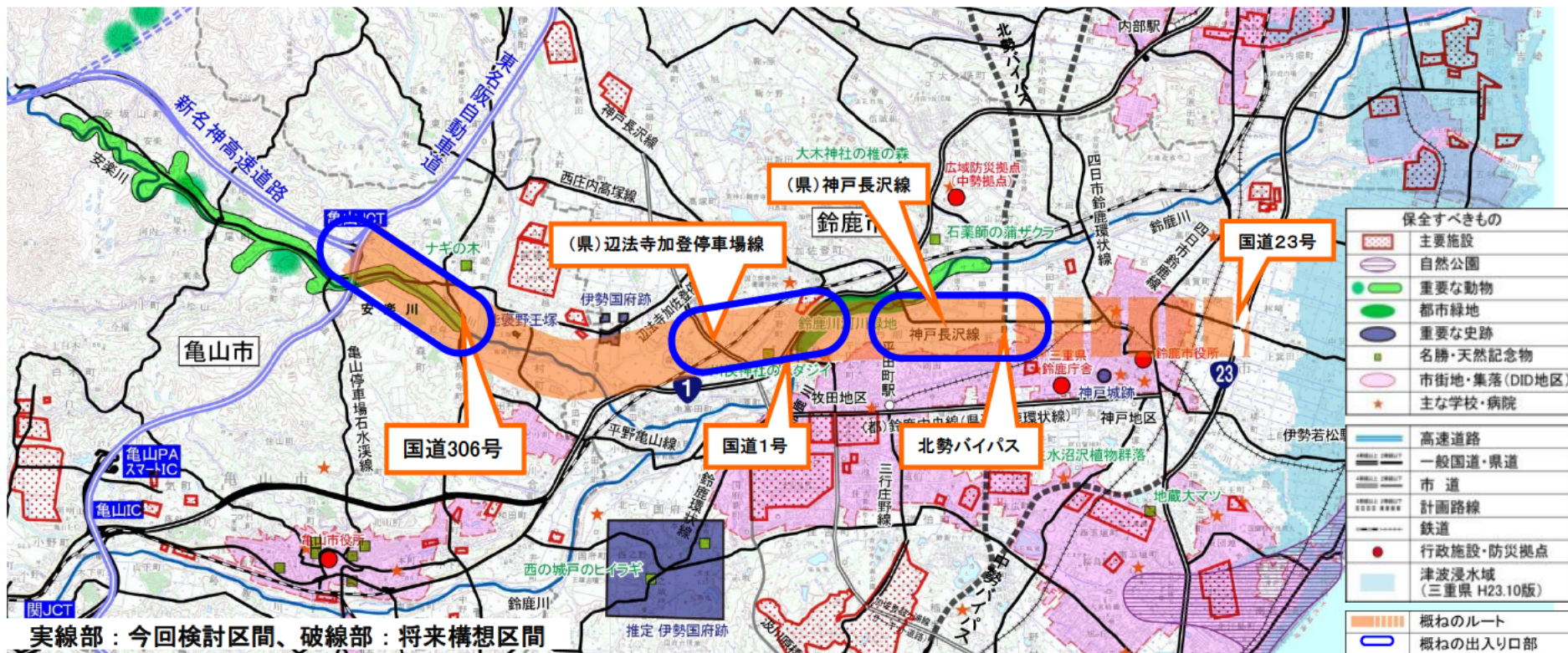
【鈴鹿亀山道路の”夢”の実現に向けて】鈴鹿亀山道路の実現は、地域にとっての夢であり、100人協議会等であげられたアイデアなど、より効果を高める施策を検討する。

# 1-2 鈴鹿亀山道路における対応方針

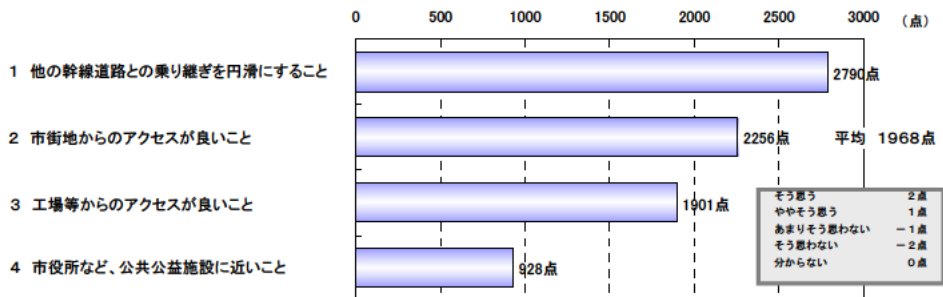
## (2) インターチェンジの検討

### 【IC配置の考え方】

1. 他の幹線道路との乗り継ぎを円滑にする位置。
2. 市街地からのアクセスが良いこと。



### アンケート「IC設置に向けて配慮すべき事項」重要度が高いもの上位から点数付け



### <参考>アンケート等での意見

- ・市街地からの接続が効果的になるよう配慮が必要
- ・306号にICができないと、亀山市民にとっては意味がない
- ・市街地とをつなぐICを増やしてほしい
- ・接続・合流点で渋滞するケースが多いので特に留意
- ・主要な自動車工場から高速道路へスムーズに輸送できるようにすべき

上図に示す「概ねの出入り口部」は、インターチェンジの設置を検討する範囲を示しています。